

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	利用者の急変時や事故発生時に全職員が冷静に判断し、統一した対応がしっかりとできるのか	管理者やケアマネージャーが不在でもすべての職員が緊急時の対応ができるようになる	マニュアルをよく熟読し苑内にて研修をする。新入職員にはその都度研修し、対応できるよう管理者が教育する。また協力病院の医師や看護師との連携体制作りを継続する	3ヶ月
2	35	災害時における人命救助や避難の仕方の対応がすべての職員ができるのか	管理者やケアマネージャーが不在でもすべての職員が緊急時の対応ができるようになる。緊急時に地域住民の協力を得られる	マニュアルをよく熟読し、苑内にて研修をする。新入職員にはその都度研修し、対応できるよう管理者が教育する。緊急時には地域住民の支援を受けられるような連携体制を日頃より心がける	3ヶ月
3	37	利用者が自分の要望や好みを職員に伝えられない。自分で物事を決める事ができない	利用者の好みや希望を引き出し、自己決定できるようにする	利用者との信頼関係を築き、何でも伝える事ができる環境を作ると共に、職員は利用者のことをよく観察し、利用者をよく知る事も重要	6ヶ月
4	13	法人は次期管理者や施設長候補になる人材育成に努めているが、なかなか厳しいのが現状である	施設のトップが不在であっても介護現場や事務関係の仕事、職員の教育ができる人材を増やす	外部からの職員募集や現職員の教育研修を設け、人材育成に努める	12ヶ月
5					ヶ月